



マールボロウ市350周年

記念事業に

市倉議長が参加



議長への招待状

当市の国際姉妹都市であるマールボロウ市が誕生350周年を迎え記念事業を開催することに伴い、当市の議長、市長、教育長が招待されたため参加したものです。また、イングランドのマールボロウの町長も招待され参加しました。平成22年9月4、5日に歓迎レセプションや350周年祝賀会などが行われ、6日にはメイנסトリートを通る記念パレード等にも参加しました。

- ①マールボロウ市庁舎
- ②マールボロウ市議場にて市倉議長(右)と臼井市長(左)
- ③母国の国旗と家族の写真がおかれている議席
- ④イングランドのマールボロウ町から参加したアンドリュウ・ロス町長(右)
- ⑤地元アメリカマールボロウ市のナンシー・ステューブンス市長(左)



パレードに参加する市倉議長

350周年記念事業に参加して
歴史の重みを感じさせ、コンパクトな市庁舎にて簡素な式典が催されました。本家イングランドのマールボロウの町長一行や、あきる野市のホストファミリークラブのメンバーの方々も駆けつけてくださり、地元の方たちと共に350回目の誕生日を祝いました。

ナンシー市長、臼井市長のスピーチも未来へと継続した交流事業の期待が謳われました。祝賀パレードは2km程の沿道両側を、市民が途切れることなく埋め尽くす「レイバー・デー」のパレードと合体した、大規模で素晴らしいものでした。

市倉 理男
*レイバー・デー…労働者の日

マールボロウ市とは
アメリカ合衆国マサチューセッツ州にある人口38,000人のまちです。多くの自然資源を保有していると共に、コンピューター、ハイテク関連企業の研究施設や工場が立地しています。あきる野市が企業誘致を進めていた工業用地に進出した企業の本社がマサチューセッツ州にあったことから国際姉妹都市となりました。中学生のホームステイ事業や市民レベルでの各種交流など、友好関係を深めています。



マールボロウ市
市章

お知らせ

インターネットで会議録と 議会だよりもご覧になれます。

あきる野市のホームページに市議会の会議録検索コーナーがあり、平成7年9月以降の本会議、常任委員会、予算特別委員会及び決算特別委員会の会議録が掲載されています。

また、平成18年5月1日以降に発行した議会だよりも、検索できますので、是非ご覧ください。

あきる野市のホームページ【<http://www.city.akiruno.tokyo.jp/>】の「あきる野市議会」から「会議録検索」、「議会だより」を検索し、ご覧ください。

請願・陳情はお早めに

12月定例会では11月22日(月)までに提出された請願・陳情を審査します。なお、請願・陳情の内容などをお尋ねする場合がありますので、提出される方は、早めに議会事務局までご持参ください。

傍聴に行こう！

あきる野市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。
お気軽にどうぞ！

12月定例会予定

- 12月1日(水) 本会議初日 一般質問
- 2日(木) 本会議2日目 一般質問
- 3日(金) 本会議3日目 一般質問
- 6日(月) 本会議4日目 議案審議
- 8日(水) 総務委員会
- 9日(木) 環境建設委員会
- 10日(金) 福祉文教委員会
- 17日(金) 本会議最終日
委員長報告・追加議案審議

*午前9時30分から開会します。
(変更となる場合があります)

次号議会だより発行予定

平成23年2月1日を予定しています。お楽しみに！

問い合わせ

議会事務局へ ☎ (558) 1111

「クイズの答え」
③「アールポロウ」
①「2.8」

クイズの答え

坂の上の武蔵五日市駅

Musashi-Itsukaichi Station on slope



昭和37年撮影

当時の武蔵五日市駅は、坂を上り街道から一段高い場所にありました。現在の駅も高架化されホームは高い場所にあります。駅前にはロータリーが広がり当時の坂道は残っていません。左に見える建物は交番ですが、現在ではロータリーの東側に移動しています。

当時の写真は、通勤通学の様子を撮影したものでしょうか。地元の足としても重要な五日市線の始発・終点駅ですが、一年を通し観光客や登山客で賑わいを見せています。

昭和37年

- 増戸簡易水道給水開始
- 青木平橋架け替え
- 東京都の人口、1000万人突破



1



2



3



4



5



6



7



8

- ① 街道から撮影した武蔵五日市駅
- ② 五日市警察署五日市駅前交番
- ③ 駅への案内
- ④ 駅構内からロータリーを眺める
- ⑤ 周辺案内板
- ⑥ 駅スロープ
- ⑦ 駅正面出入口
- ⑧ 駅前バス停

撮影日：平成22年8月16日(月)・26日(木)



この写真はどこ？

第62号(2月1日発行予定)「あきる野今昔写真館」で掲載予定のあきる野市内の写真です。

次号をお楽しみに！



クイズ

問1 350周年記念式典を開催した国際姉妹都市はどこでしょうか。

- ① シアトル
- ② ロサンゼルス
- ③ マールボロウ

問2 一般質問の数は何項目だったでしょうか。

- ① 38
- ② 39
- ③ 40

答えは17頁の中にあります。

◇議会だよりに対するご意見・ご感想などをお待ちしております。

◇〒197-0814 あきる野市二宮350番地
あきる野市議会事務局

秋の風物詩～菊～



ご存知でしたか。あきる野市の花は「菊」です。

菊は、東洋では最も古くからある鑑賞植物とされていますが、江戸時代頃から改良が重ねられ、現在ではたくさんの品種があります。

「きく」は、漢名の「菊」を音読みしたもので、花弁を米に見立てて、散らばった米を1箇所に集めるという意味があるようです。花の盛りは、10月中旬から12月中旬頃のものが多いようですが、小菊は寒さに強く、冬になっても「残菊、晩菊、寒菊」などのサブネームで長く咲き続けるものもあります。

みごとな大輪のものは、「文化の日」あたりの菊花展などでよく見かけるのではないのでしょうか。

桜と並んで、菊も日本の国花とされており、50円硬貨にあしらわれているのは菊の花です。

編集後記

縁側の中ほどまで日差しが入り込むようになりました
◆地元の鎮守様のお祭りも盛大に終わり、一年に一度の祭りですが子供たちにとって、心のふるさとが、またひとつ刻み込まれたようです◆平成22年第3回定例会も終わり、平成21年度決算も議会で可決された予算をほぼ忠実に執行され認定されました◆「議会だより」の編集で一般質問の内容は、文字数に限りがあり全体の10分の1程度の内容しか掲載できません◆皆様、ぜひ一度議会を傍聴しに来てください。

編集委員 細谷 功